

労働
千葉

第4回定期大会 開催される

11月26日(日)
潮来町にて

日刊
労働千葉

80.11.27

No.593

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)四三三二七二〇七



内外の注目の中で、歴史的大会の幕が切つておとされた。挨拶に立つ 南川委員長。

労農連帯を強化し、 八一・三大ストライキを

動労千葉第4回定期大会は、内外の注目の中、11月26日13時より茨城県潮来町潮来ホテルにおいて代議員・傍聴者180名の結集で開始された。
大会は、前日川上千葉県知事が沿線住民の反対の声を無視して塩川運輸相にジェット燃料暫定貨車輸送延長を受け入れるという状況の中で、参加した代議員・傍

議長団に日暮(成田)、松崎(新小岩) 両代議員を選出

潮来ホテルの大会会場は準備を担当する成田支部によって即う動労千葉にふさわしい会場がつくられ、開会をまつばかりだ。
13時、西森本部副委員長の一段と声を張りつめた力強い開会挨拶がされた。
つづいて議事は、南本部執行委員の司会により進められ、成田支部の森内書記長から大会準備委員会を代表して歓迎の挨拶がなされた。

三ジェット闘争の一方の拠点である成田支部・日暮代議員が推せんされた。山下(津田沼)代議員からは貨物合理

三里塚を即う労仲運動こそ、労仲者人民の未来を築く――南川委員長あいさつ――

一年間の激闘の中ですます団結を強固にし、八一三即争に自信と確信をもって決起する決意をこめて挨拶にたつた南川委員長は、「この一年間、反台・三里塚を基軸とした即いは、権力・当局・本部・草マル反動分子の一体となった破壊攻撃を粉碎し、佐倉支部結成を勝ちとり動労千葉の初期の目的を達成したと総括できる。昨日、川上知事はジェット延長受け入れを運輸省に答申した。これは本大会に対する重大な挑戦である。われわれは、三里塚はもとより日本階級即争の死活をかけた八一三即争にかつてない

11.27 改憲阻止 国民総決起大会
主催・総評護憲連合
PM.六時 日比谷野外音楽堂